

(別紙様式2)

学生等評価の改善状況報告書

平成 27 年 3 月 30 日

評価会議議長 殿

理学研究科長

静岡大学における学生等による評価に関する基本方針に基づき、平成 24 年度に実施された学生等による評価結果に係る改善事項について、平成 26 年度の改善状況を次のとおり報告します。

改善事項
学部生の時間割
改善計画
時間割について 90%以上の学生が満足しているが、改善を希望している 9.4%の内容を解析して緊急な必要性がある場合には対応を検討する。 実施時期（予定を含む）：解析後対応を検討、必要があれば27年度より実施
改善状況
現時点では、時間割の改善の必要性がないと判断
達成年度（予定を含む）

改善事項
進路支援
改善計画
学部としては平成24年度より就職説明会を独自で行っており、今後の結果を見極めていくところであるが、就職支援組織が学内にできており、その活動に期待する。また、インターンシップへの積極的参加を学生に促す。*前年度までの単位取得状況を保護者へ送付する際に、前年度の進路状況を同封する。
実施時期（予定を含む）：*26年度前期の送付分より同封開始

改善状況
今年度から、学生の単位取得状況を保護者への送付時に前年度の就職状況を同封した。 また、就職ガイダンスにおいて、今年度から就職活動の開始が後倒しとなったことなどを周知した。
達成年度（予定を含む）
平成26年度

改善事項
教職員との相談体制
改善計画
入学式のあとに行っている保護者出席の集まり等で、学生支援センターがあることを説明し、支援を受けることができることを周知する。各教員はオフィスアワーを設けており、学生への相談体制は整っている。*少人数の学部学生を担当する新入生セミナーを全学科で行っており、きめ細かく相談に対応できる体制がある。この体制について副指導教員制という制度として確立する。
実施時期（予定を含む）：*平成26年度より全学科で制度確立予定
改善状況
全学科で副指導教員体制を設置し、学生の相談体制を整えた。
達成年度（予定を含む）
平成26年度